

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676500087
法人名	医療法人 たからべ会
事業所名	グループホーム たからべ
所在地	鹿児島県曾於市財部町下財部1318番地9 (電話) 0986-72-1677
自己評価作成日	平成26年2月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①開設10年目に入り利用者の方も重度化して医療の必要性も増してきているなか、母体が医療法人であるため医療との連携がうまく取れている。
- ②スタッフ全員が正職員で、離職者が少なく入居者とのなじみの関係が良好に保たれている。
- ③県道2号線沿いにあるが、閑静な住宅街で周りが他の建物や樹木で囲まれたようになっているため風当りが弱いようです。高台でもある為水害の恐れもありません。
- ④職員の資格取得に対して協力的に推進している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体医療法人の複数グループホーム間で、職員の人事交流による活性化が図られている。
- ・利用者の医療ニーズに応じて、医療連携体制及び緊急時等の母体医療機関との協力体制が整っており、利用者や家族から安心と信頼を寄せられている。
- ・利用者及び家族と職員の信頼関係ができており、馴染みの関係が築かれ家庭的な雰囲気のあるホームとなっている。職員は利用者一人ひとりとゆっくり向き合うことを大事にしながら日常のケアに当たっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	月に一回のミーティングにおいての確認。朝の申し送り前に唱和するようにしている。	理念は全職員で検討して作成したもので、朝礼やミーティング時に振り返り、理念に沿ったケアを支援している。ホームの壁にも掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節の良い時は積極的に敷地外で散歩し外気浴に努めている。その際隣人の方と言葉を交わすことがよくある。	散歩時等に近隣の住民と挨拶を交わしたり、毎月法話に来てもらうボランティアの受け入れをしている。昔からの住民が多く顔なじみで交流もある。避難訓練はホーム単独で行うが、緊急時には地域住民の協力がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ボランティアや見学の申し出があれば受けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>グループホームの意義や日々の生活状況をお話ししたり、質問等を受けたりしている。地域の実態（過疎進行に伴う高齢者ひとり暮らしの現状等）をお話してもらったりしている。</p>	<p>ホームからの状況報告や事業計画・外部評価結果報告もされている。参加者からは、行政からの情報提供や地域の高齢者等の実態状況を聞き、意見交換をして、運営に反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市役所主催の「グループホーム・小規模多機能の会」が2ヶ月に1回開催されるが、メンバーとして毎回参加している。運営推進会議に参加してもらい実情を伝えている。</p>	<p>市の担当者とは、報告や相談に行き、情報やアドバイスを受ける等、日頃から協力関係を築いている。市主催の「グループホーム・小規模多機能の会」が定期的に開催され、市からの情報や意見・要望も出され、連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在まで身体拘束はしていない。身体拘束廃止委員会で話し合いをしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員の言葉かけで気付いた場合は、ミーティングで取り上げ話し合っている。日中の玄関の施錠はしていない。外出希望者には職員と一緒に付き添って行動している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の身体拘束委員会で虐待行為も話題に上げ拘束、虐待に対しての理解を深めるよう努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に迫れることが無い為理解は浅い。今回成年後見制度の講習会が市役所主催で実施されるので、複数名参加して理解を深めたいと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には二人以上の職員により、説明漏れ等無いよう、また疑問点の質問などしやすい雰囲気作りに努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の方が面会、入金等で来所されたときストレートに、あるいはそれとなく要望、意見等を聞き出し、皆で情報を共有できるよう努めている。長い付き合いの家族が多いが、惰性に流されないよう気持ちを引き締めることが必要かと思えます。	家族の面会時等に、職員から利用者の状況報告を行い、家族等の意見や要望が話してもらえるように努めている。出された意見等を検討し職員全員で取り組むようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者が日勤体制で常時ホームにいたので、何かあればその都度上げてもらう。すぐにできるものであれば、即実行している。	朝の申し送りやミーティングで運営に関する意見が出され、即解決できるものは早急に解決している。職員から管理者に個別相談を気軽にできる関係が築かれており、手すりの設置やキャリアチェア等が購入され、ケアに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人であるため給与水準、労働時間は変更できないが、日々の勤務に関しては柔軟に対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部からの研修案内に対しては、テーマ毎の希望、あるいは順番に均等に研修に参加できるように配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	前述の「グループホーム・小規模多機能の会」あるいは市全体での研修会で情報交換したりしている。相互訪問は最近行っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでの情報をもとに、本人の不安を軽減できるように語りかけて安心して過ごせるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの話を十分に聞き不安な点や心配事は納得できるように十分な説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を必要としているか見極め必要なサービスの提供を行えるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の暮らしの中で作業や会話。レクリエーションを通じて喜怒哀楽を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への連絡、報告時一方的にならないよう最近の本人の状況を交え最近の出来事なども話して関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居生活が長期になればなかなか難しい面があるが、本人の意向に添えるよう職員または家族にお話して協力をもらえるよう努めている。	家族の協力を得て自宅訪問をしたり、利用者の要望に沿って墓参りや買い物・行きつけの理美容院等へ同行する等、関係が途切れないよう支援している。馴染みの関係をできる限り継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの方の性格、生活歴などを把握し共感できるような話題を提供したりして、会話のきっかけを作るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方は系列の病院、近辺の施設に行かれる方が殆どなので機会があれば面会し近況を伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	黒砂糖や蜂蜜、化粧品他、本人や家族の意向があれば、買い物を代行している。	日常のケアの中で、本人の言葉やしぐさ等から意向の把握に努めている。生活歴を参考に職員から働きかけて情報を得ることもあり、職員間で情報を共有し、ケアに活かしている。意思疎通が困難な場合は家族からの情報を聞いたり、職員で話し合い、本人本位のケアになるよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にできる限りの情報を得ている。それに添えるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自分のペースで過ごして戴くが申し送りなどを通して、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を聞き介護計画を立てている。変化などあれば職員で話し合っている。	本人及び家族の要望や主治医の意見を把握した上で、職員のミニミーティングを開いて介護計画を作成している。6ヶ月毎のモニタリングで計画の見直しをしているが、状況等の変化によって、その都度計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の用紙に毎日の記録を記入し身体状況の変化に注意している。申し送り等で情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制も整っており健康状態の把握もできている。本人家族の要望があればできる範囲で対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内のお寺さんの積極的な協力があり1回/月の法話があり楽しみにされている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的なかかりつけ医の受診を行い、何かあれば時間外でも病院と連絡を取ることができる。	かかりつけ医は本人及び家族の希望する医療機関となっている。毎月1回の定期受診はホームで対応し、夜間等の協力体制もある。専門医受診で家族が同行することもある。適切な医療を受けられるよう支援している。協力医療機関との24時間医療連携体制が取れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、口吊の関わりの中にとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	病院へ定期受診を行いまた何かあればすぐに相談できる体制がとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は面会に行き状態を伺っている。病院スタッフとの連絡、連携体制はできている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人と家族の意見を伺い、ホームでできる支援を取り組んでいる。	契約時にホームの方針を説明し、同意書をもっている。医療連携体制を取っており、職員も方針を共有し、家族の意向に沿ってホームでできる支援に取り組んでいる。終末期に向けての職員の研鑽は必要であり、研修も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	以前ほどの緊張感がなくなったので、ミーティング等で取り上げ繰り返しの訓練を心がける。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホームを囲むように人家があり万一の場合の協力をお願いしている。年2回の避難訓練、消火訓練を欠かさずやっていきたい。	消防署の協力で年1回夜間想定避難訓練をホーム単独で行っている。母体医療機関と合同の消火訓練を年1回実施している。スプリンクラーが設置済みである。近隣住民の協力依頼をしている。非常用の食品の備蓄は賞味期限を確認している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	問題発言などあった場合は職員同士で注意しあい、そのようなことがないように努めている。人前でプライバシーを損ねるような問題であれば場所を変えて対応するなどしている。	誇りやプライバシーを守るために、日常的にさり気ない声かけに努め、使用中の脱衣場やトイレの戸を閉めること及び入室時のノック等を基本として実施している。個人記録類は事務室に保管している。誇りやプライバシーを損ねないように、職員で話し合いを行い、質の向上に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の表出の少ない方には職員が積極的に話しかけ思いを聞けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れがあるが、希望があれば、希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は3カ月毎に理容師の方に来てもらっている。行きつけの店のきぼうがあれば支援している。服装は好みの服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できることを手伝ってもらい旬のものを使い、行事食などを取り入れおいしく戴けるよう工夫している。	食材の買い物に利用者が同行したり、モヤシのひげとりやお茶を袋に入れたり、下ごしらえ等を職員と一緒にしている。誕生会は本人の希望の献立にしたり、正月や敬老会などの行事食で楽しみを工夫している。花見の弁当もからいも料理も楽しみにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え献立をたてている。食事や水分量、形態も個々に合わせて提供し、摂取量も毎回記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日3回食後に口腔ケアを行っており、週に2回義歯の消毒を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できる限りトイレを使用するように努め、個々の排泄パターンをみて声かけし誘導を行っている。	日中はトイレチェック表を職員が把握して誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。排泄パターンに応じたトイレ誘導や声かけで、トイレでの排泄ができるように支援している。夜間はポータブルトイレを使用する利用者也改善された事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の良い食材を選び食前の軽い運動など取り入れ、個々にあった下剤を服用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は一日おきであるが、体調に合わせて気持ち良く入浴してもらえるよう努めている。	週3回の入浴を午後の時間帯に実施している。職員と会話を楽しみながらゆっくり入っている。入浴をいやがる利用者には、本人の気持ちを大切にタイミングを見て声かけしたりして個々に応じている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペース、体調に合わせて休んでいただいたり、気温の変化に対処し安心して休めるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は全職員で行っているため副作用、用法、用量についてもより一層の理解に努めたい。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	いろいろなレクリエーションを取り入れ職員や入居者同士の交流を深めコミュニケーションをとりながら日々の楽しみ、気分転換できるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に沿って出かけたがり、病院受診のコースを考えたりして季節の移り変わりを感じてもらったりしている。	日常的には、散歩に出かけたり、敷地内で日光浴やレクリエーションを行ったりしている。希望で墓参りや自宅訪問等のドライブをすることもある。花見などの外出等を計画したり、初詣や買い物に出かけたり、家族に協力をもらって外出の機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一括してお小遣いとして預かり管理している。入居者様の認知レベル、ADL程度に応じて本人希望あるときは職員の介助により買い物等行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族より届いた手紙を読み聞かせたり、かかってきた電話を取り次ぐなどし、会話をされている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節によって模様替えをしたり、自分たちで書いた絵、行事の写真等を貼ったりして楽しまれている。</p>	<p>リビングは明るく、外のウッドデッキに繋がっていて開放感がある。加湿器で適度な環境が保たれている。廊下は広く、行事や外出した時の写真が貼ってあり、利用者の作品が壁に飾っている。玄関にソファがあり、利用者が日光浴等を楽しむスペースとなっているなど、温かい感じの工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関前長椅子では気の合う入居者同士会話を楽しまれている。食堂では個々に興味のある時代劇や歌番組など干渉され楽しまれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>普段より使いなれた家具や小物思い出の写真など入居時に持ってきていただき飾り付け等行っている。</p>	<p>居室はベッドが備え付けられ、リースの寝具が準備されている。本人と家族が相談し、利用者が使い慣れた毛布や椅子・衣装掛け等の家具を持ち込み、写真等を飾って、安心して過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室前に分かりやすいように目印になるものを付けたり名前を表記している。更衣時に衣服が分かりやすいよう種類を表記している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない